

数の力で悪政を強行する安倍政権に選挙で退場の審判を

神戸・元町での山下副委員長長の国会報告（大要）

山下よしき党副委員長・参院議員が9日に神戸市・元町で行った緊急国会報告の大要を紹介します。

今日は緊急国会報告をさせていただきます。国会は異常な事態となっています。一昨日（7日）から昨日朝まで徹夜国会となりました。なぜこんなことになったのか。安倍政権と自民党・公明党が、国民の多くの方が「急ぐ必要がない」と言っている法案を数の力で次々と強行しようとしてきた。それに対して私たち野党は結束してたたかいました。私も野党共同で提案した安倍内閣の責任を問う決議案に党を代表して賛成討論に立ちました。

●入管法 “ややこしい質問されるのは嫌” と強行

私がまず問題にしたのは、外国人労働者の受け入れを拡大する、入管法の改定問題です。いますでに日本には128万人の外国人労働者が働いています。その中心になっているのが30万人いると言われている技能実習制度のみなさんです。この制度でとんでもない人権侵害が横行していることが、野党が共同して行った技能実習生へのヒアリングで明らかになりました。

アジア各国から来ている実習生から「段ボール工場で左手の指を三本切断したが、治療費は自己負担、会社はそれを理由に帰国を迫っている」「時給300円、1日15時間労働を強いられた」「いじめやパワハラで飛び降り自殺を図った」などの実態が次から次へと出てきました。

みなさん、こんな現状をそのままにして外国人労働者の受け入れを拡大するのは、とんでもないことではないでしょうか。私たちは現状の外国人労働者のみなさんの実態をしっかりと調査し、問題を解決するための改革をきちんと取ったうえで、秩序ある受け入れを行うべきだと、提案してまいりました。しかし安倍総理は“ややこしい質問されるのは嫌だ”と審議を打ち切って強行したのであります。こういう人権侵害を放置して受け入れを拡大すれば、安倍首相は「世界に誇れる国」と言っていますが、「人権後進国」として世界から軽蔑されることになるのではないのでしょうか。

●沖縄に基地を押し付けるのではなく、米と交渉せよ

2つめに安倍首相の責任を問うたのは、沖縄の問題です。9月30日、沖縄県知事選挙で辺野古新基地建設反対を掲げた「オール沖縄」の玉城デニーさんが、安倍政権が総がかりで支援した相手候補に8万票の大差をつけて圧勝いたしました。4年前も10万票差で翁長さんに負けた。本当だったら「まいりました。辺野古はあきらめます」となるのが普通じゃありませんか。ところが安倍政権は、行政不服審査制度を悪用し、沖縄県の埋め立て承認撤回の執行停止を決定してしまいました。すでに埋め立て工事は再開されており、今週にも土砂が投



訴える山下氏(中央)と大野さとみ・兵庫県議候補(左)、金田峰生・参院選挙区候補(右)=9日、神戸市中央区

入されようとしています。言語道断の暴挙と言わなければなりません。

みなさん、行政不服審査というのは行政機関によって国民、すなわち私人の権利が侵害された時に、これを救済するためにある制度なんです。国がこれを使うことはできませんと、法律にはっきり書いてあるんです。沖縄選出の赤嶺政賢衆議院議員が「これは法の乱用ではないか」と追及したら、政府は、「沖縄防衛局は一般私人として不服を申し立てました」と言うんです。とんでもないことです。一般私人に米軍基地などつくることのできるわけがありません。こんな理屈は安倍政権の中でしか通用いたしません。民主主義も地方自治も、そして法治主義も踏みこむ、こんな無法な決定は直ちに撤回すべきではないでしょうか。

沖縄との連帯を強めよう

沖縄のみなさんの頑張りを国民はよく見えています。世論調査で「辺野古反対」が国民の多数になりました。先日の共同通信の調査では「政府の沖縄に対する姿勢を支持しない」という人は51%、「支持する」という人は31%になりました。沖縄と本土の温度差がなくなりつつあります。さらに沖縄との連帯を強めようではありませんか。そして全国から安倍政権にこう迫りましょう。「沖縄に基地を押し付けるのではなく、沖縄県民の民意を尊重し、辺野古新基地は中止、危険な普天間基地は即時閉鎖・撤去、これを掲げて、アメリカと交渉することこそ日本の総理大臣のやることではないか」と。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 45(2018.12.10)

(裏面に続く)

●憲法を守らぬものに、憲法を語る資格なし

安倍首相の憲法改定にむけた暴走はいよいよタガが外れてきました。自衛隊の高級幹部の集まりや自衛隊の観閲式で、9条改憲の決意を語りました。政治的中立を厳格に守らなければならない実力組織を前に、その最高指揮官が改憲の号令をかける。これは自衛隊の最悪の政治的利用であり、閣僚に憲法尊重・擁護義務を課した憲法 99 条違反であることは明らかではないでしょうか。

さらに安倍首相は、所信表明演説で「憲法審査会で政党が改正案をしめせ」「議論するのは国会議員の責任だ」と言いました。これは行政府の長が立法府の審査のあり方に号令をかける、憲法の「三権分立」を踏みじめる行為だといわなければなりません。安倍総理はこの国会で「私は立法府の長だ」と3回も言ったのですよ。1回なら勘違いかもしれませんが、3回も言うということは、本気でそう思っているということです。憲法をまもらない、憲法を分かっていない首相に憲法を語る資格はありません。

改憲派も相当焦っています。下村博文自民党憲法改正推進本部長はこう言いました。「安倍政権の下では議論したくない、と思っている人が多い。安倍色を払拭していくことが必要だ」。しかしみなさん、本気で安倍色を払拭したいなら、安倍首相にやめてもらうしかありません。下村さんはこうも言いました。「安倍政権はいかにも戦争しそうなイメージでとらえられているところがあるかもしれない」。よく分かっていますね。しかしみなさん、「あるかも」ではなく、あるんです。

安倍総理は憲法に自衛隊を書き込むと言っています。憲法に自衛隊を書き込んでも、なにも変わらないと言いますが、大きく変わるんです。戦力保持を禁止した9条2項は死文化し、自衛隊は無制限に海外で戦争することができるようになります。戦争する気満々なのが安倍政権ではないでしょうか。力をあわせて止めましょう。3000万署名を全国津々浦々で集めに集めましょう。

9条が生きた力を発揮している

今年は朝鮮半島の情勢が平和の方向に大きく進み始めました。4月から3回の南北首脳会談が行われ、6月には史上初めて米朝首脳会談が行われ、長い間厳しく敵対してきたアメリカと北朝鮮が初めて首脳会談を行って、朝鮮半島の非核化と平和体制の構築をすすめることで合意しました。日本共産党は、心から歓迎したい。

この合意の一番の立役者は韓国の文在寅（ムン・ジェイン）大統領だと世界は見ています。文大統領は「二度と朝鮮半島で戦争を繰り返してはならない、対話による平和的解決しかない」との信念で行動した。国と国とのもめごとは戦争ではなく、話し合いで解決しよう—これはまさに日本国憲法9条が指し示している方向ではないでしょうか。目の前で憲法9条が力を発揮しているときに、これを壊して海外で戦争する国づくりに走るほど愚かなことはありません。この一点だけでも安倍さんには一日も早く総理大臣を辞めてもらわなければなりません。

●10%中止こそ一番の景気対策

消費税の問題も重大です。私は「消費税を来年10月から10%にするというが、本当にいいのか」と問いました。4年前、5%を8%に増税したとたんに家計消費はドーンと落ち込んだ。安倍さんは一時的なもので終わると言っていたけど、4年間ずっと落ち込みっぱなしでしょう。さらに10%に引き上げたら、くらしにも日本経済にも大打撃をあたえる。

安倍さんは「いろいろ対策をとる」と言っています。食料品や飲み物に「軽減税率」を導入する。しかし「軽減」と言っても税率は8%のまま据え置くだけ。カードで買い物した時にはポイント還元すると言う。しかしカードを持っていない人には何の恩恵もありません。私がよく行く商店街の八百屋さん、ポイントカードは使えません。だって天井から箒（ざる）がぶら下がってお札やジャリ銭いれる仕組みですからね。そういうところにポイントカードを導入したら、新たな設備投資が必要となります。次から次へと「対策をやります」と言わなければならないのはなぜか、それは消費税を10%に引き上げたら、暮らしにとっても日本経済にとっても大変な打撃になることを、政府自身も分かっているからではないでしょうか。

だったら、いちばん効果のある対策は増税しないことではないでしょうか。「来年10月からの消費税10%は中止を」。この一点で、国民的な大運動をおこそうではありませんか。

増税するなら消費税ではありません。消費税は所得の低い人ほど負担が重くのしかかる弱い者いじめの税金です。増税するなら、アベノミクスで純利益が2.3倍に増えた大企業や、資産が大きく膨らんだ富裕層に應分の負担をしてもらおうではありませんか。そして軍事費、トランプさんに言われるまま1機100億円もするF35戦闘機を100機買う、1兆円ですよ。こういうものをやめて、高齢者の老後の安心、医療の安心、子育ての安心に回せ、というのが日本共産党の提案でございます。

●連続選挙で日本共産党躍進を

色々申し上げましたが、安倍政権には国民の声は届きません。国民の声を聞く耳を持たず、ただただ数の力で悪政を進めようとしています。こういう政治を止める力は国民の声、選挙で止めるしかありません。来年の4月には統一地方選挙、7月には参議院選挙があります。これらの選挙で数におごった安倍政権に主権者国民の厳しい審判をくだそうではありませんか。

参議院の32ある1人区すべてで野党は「本気の共闘」を実現させて、すべてで自民党に勝ちたいと思います。そして日本共産党を躍進させてください。比例代表で全国850万票以上に伸ばしていただき、私、山下よしきを含む7名をそろって国会で働かせてください。定数3の兵庫選挙区で命と尊厳を大切に政治家・金田峰生さんを兵庫から参議院に押し上げてください。そしてそれに先立つ兵庫県議員選挙、神戸市議員選挙で日本共産党の議席を伸ばしてください。心からお願います。